

# さいむら

広報

No.31

昭和42年6月15日 発行  
青森県下北郡佐井村役場

第三十一号

## 挨拶のご就任

新しいな感覚と意欲をもつて

去る四月廿八日の統一  
地方選挙に当り、村民皆  
々様方多数の温いご同情  
と深いご理解をいただき  
、再度、村長の任に就か  
せていただくことに相成りました。

佐井村長  
渡辺 幸定

浅学菲才の身を省りみ、この上ない光栄と存  
じまして、心から感激を覚える次第でございま  
す。

今後は、過去三期十二年の体験を基礎に、新  
たな感覚と、意欲をもつて、既定計画の実行は  
もとより、みなき声に充分耳を傾けて、皆様方  
のご厚意に対する感激を胸に刻み、一意専心、  
村政の振興発展に全力を尽くし、村民皆様方の  
意を体し、最大の奉仕をいたす所存でございま  
すから、何とぞ旧に倍するご支援ご鞭撻を賜わ  
りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶  
といたします。

◇去る五月六日の組織会で次のように、役職が決  
まりました。

○議長 石沢多佳樹 ○副議長 今与之

(各常任委員会の構成左の通り)

総務 川畑徳次郎 (委員長) 長後 雄二 (副)

今与之 (委員) 石沢多佳樹 (委員)

文教 奥本 正一 (委員長) 高橋豊次郎 (副)

厚生 横浜 清 (委員) 田中 政吉 (委員)

産業 内田 俊雄 (委員長) 東出 昇 (副)

経済 奥本 文男 (委員) 松沢 勝雄 (委員)

土木 木部惣太郎 (委員長) 大畑 勝義 (副)

建築 吉田 順一 (委員) 奈良兼太郎 (委員)

監査 東出 昇

## 挨拶

議長 石沢多佳樹

先般、閉催されました組織会に於て、不肖私が  
議会議長に選任されました。  
議員の経験も浅く、加えて浅学の身であり、取  
務の重大さに、身のひきしまる思いでございませ

今後は、皆様方のご支援をいただいて、議会の品位を傷つけないよう努力致したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

## ご挨拶

総務常任  
委員長 川畑徳次郎

今次、皆様方の絶大なご支援によりまして、佐井村議員の末席を汚すことを得ましたことは、まことに身に余る光栄であり、不敏不才の私ではあります。この感激を堅く胸に刻んで与えられました職責に最善をつくす覚悟であります。

御承知かと思いますが、私は、総務常任委員長と、議会運営委員長に任じられましたが、浅学なものであり、この大役が果せるものかと、心配するものであります。総務常任委員会とは、委員会の中でも、特異性なものであり、他の常任委員会に属していないものの問題等、その任務もかなり巾広いものであります。

つまり、財政の向題、請願、陳情、などの審査であります。ことに財政問題につきましても、監査委員とは、別の立場にあつて、計数的に吟味し、その正否を確かめなければなりません。

総務常任委員会の權威にかけても、あらゆる資料を基礎にして、その問題点を掘り下げて行きたいと思ひます。又、議会運営のことについては、會議はすべて、公開を原則とし、民主政治であり、過半数表決の原則、発言の自由の原則、を守り通したいと考へ、この点、新議長に進言したいと思ひます。幸いにして新議長には、若くして、新鮮で理知的な議會内では、純理派であり、私の進言を取り上げることを信じてやみません。

この新進の議長に引き替え、私は年寄りではありますが、幸いに三十年の政治キャリアがあり、若い議長と、古い議会運営委員長と、ひとつのカツプルとし不動の議会運営を造りあげたいと、念願するものであります。

新しい十六人の議員諸公は、村での有識者揃えであり、この議員のご協力をいただき、むずかしい議會を円満に運営の作業をなすとけて行きたいと、心から祈念しつつ筆をとめます。

## ご挨拶

産業経済  
常任委員長 内田俊雄

この度の、地方統一選挙も終り、村議會も従来通りの四つの部門に分け、私も産業、経済常任委員長

を引受けた次第であります。

五月の臨時議会に於いて村長の施政方針として、○沿岸漁業の振興○山村振興事業の促進、この二点を柱として四年間村政を担当してゆくことを言明しましたが、私も佐井村は農業、漁業、林業を基盤とした、産業経済の育成をするのが当然かと思ひます。

農業においては、南田の促進、畜産受入態勢の促進、漁業については、漁港の整備が第一で、佐井、牛滝、矢越漁港の完全整備と共に、長後、磯谷漁港の早期着工をすると共に、各部落共通であるが、船揚場、及び施設の完備、魚礁の投入、干潟の造成、乾燥施設等を促進する一方、林業は、農閑期、漁閑期につとめて造林事業に従事し農漁業後継者、将来の安住を計り、又、村内中小商工業者の育成も、これと併行して行い、佐井村経済発展をはかりたいと思つております。

最後に、農、漁、林業と共に、最も佐井村の経済を左右する出稼の向題も地場産業の育成と関連して、村長と議会が一体となり、出稼者の納得のゆく方法を講ずるべきと思ひます。

どうぞこれからの四ヶ年間、特に産業、経済の諸団体の御協力と、村民各位のご理解をお願い

いして、ご挨拶と致したいと存じます。

No.1

窓口

おめでとうございます

結 誓

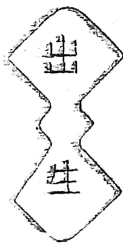
(5月中受付)

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| 松谷 忠夫 | 佐井村 | 吉浦 亀治 | 磯谷村 |
| 長谷川君代 | 東京都 | 倉内 福子 | 青森市 |
| 須藤 正  | 弘前市 | 武井 清  | 茨城県 |
| 田中 夕工 | 福浦村 | 大久保信子 | 大佐井 |
| 田中 隆治 | 弘前市 | 高橋 三男 | 大佐井 |
| 田中 春代 | 福浦村 | 和氣 幸子 | 栃木県 |
| 佐賀 信機 | 古佐井 | 野呂 明弘 | 浪岡町 |
| 辻 妙子  | 大佐井 | 内藤 みね | 福浦村 |
| 川岸与志夫 | 大佐井 | 正村 正秀 | 大佐井 |
| 米坂 良子 | 黒石市 | 大西たけ子 | 大向町 |
| 松田 丈男 | 郡山市 | 酒井 満雄 | 北海道 |
| 大畑 章子 | 古佐井 | 中村吹美子 | 矢越村 |
| 横浜 敬  | 磯谷村 | 武井彦次郎 | 函館市 |
| 坂下フミ子 | 静岡市 | 工藤 節子 | 大佐井 |
| 奥本 豊文 | 八幡堂 | 鍋田 和男 | 釧路市 |
| 田代 邦子 | 山形市 | 岡沢 寿子 | 古佐井 |

# 43年開通か

## 下北半島一周の道路 佐井川内

◇村民みなさまが御承知の、佐井川内間具道は、本年も陸自九師團が九施設大隊（稲垣征四郎二尉以下（約三十人）が、六台のフルドーザーを青森から、佐井へ海上輸送し、十日に着工式を行い、六、七月の二ヶ月間に、約九料の



齋口 孔 (父忠毅) 内藤 靖尚 (父栄)  
 佐賀 正広 (父信雄) 藤田 陽子 (父武雄)  
 紀伊 忠義 (父忠美) 山本 俊介 (父秀夫)  
 高橋るみ子 (父喜代) 竹内 大規 (父一男)  
 田中 互 (父政司) 瀬原いずみ (父禎)

◇謹しんでおくやみを申し上げます◇

紀伊 忠義 (父忠美) 古佐井  
 坂田 タカ (親族春治) 八幡堂  
 椋戸内みな (父謙太郎) 古佐井  
 田中 互 (父政司) 磯谷  
 工藤 ス工 (親族正志) 矢越  
 木下 まつ (父与三郎) 矢越

### 鍵掛岩公園で

## 植樹祭 五月八日

佐井村、佐井営林署共催の明治百年記念植樹祭は、五月八日、関係者多数あつまり、鍵掛公園一帯で行われた。面積三十アールに、クロマツ、アカマツ、各二百本、桜五十本、桃十本などを植えた。遊園の方は、苗木にどうぞ注意して下さい。

県道 大間  
 今年度工事区間  
 未開削区間



この道路は、佐井、川内のみならず、下北郡民の念願でもあり、昭和四十三年には、開通の見通しがたつよくなり期待されている。

田の出動協力となり、四十、四十一年度につづけての委託工事となったものである。

は、岩盤地帯の難所であり、このために陸自九師團は、佐井村の大滝付近より、約二料開削されて、残りは、六料となりまます。

開削をします。一方、川内側からも業者により、約二料開削されて、残りは、六料となりまます。

☆牛滝地区簡易水道完成す。

昨年七月着工以来、今年の三月末をもつて、工事が完了し、給水開始は六月一日の予定です。この事業には、五百五十万三千円、この内、厚生年金および国民年金特別融資は、三百二十万であります。また補助金は約百六十四万五千円となっております。

☆佐井村職員事務分担のお知らせ

係名	係長名	係員名
庶務係	川畑 書記	中村・樋口書記
企画係	松林	奥好書記・大坂雇
会計係		太田ぬい書記
国保厚生係	岩尾	太田(祭)・田中雇・滝本
厚生係	宮川	奥正書記・武井
土木水道係	大島	太田(豊)・奥昭・三戸
税務係	若山	宮野・辻書記
経済係	島野	奥定書記
調整係	松橋	係長不在の時、田中雇
へき地出張診療所	岩尾	竹内看護婦
嘱託婦		武井きよ

五月十三日付で、右のようになりました。



▽佐井中学校(伊藤三郎校長)では、この程、創立二十周年をむかえるに当つて、「二十周年記念事業協賛会」の組織づくりをしております。主な事業内容は、校内放送施設の整備、二十周年誌のへんさんなど。

▽六月四日・運動会(原田小学校)。合同春季大運動会(佐井小中学校)。六月五日・運動会(長後、磯谷小中学校)。七月一日予定・運動会(牛滝、福浦小中学校)。

▽磯谷小中学校PTAでは、かけはし第3号発行。佐井小学校父母と先生の会では、「PTAだより1」を発行。

▽磯谷校では、環境の美化と情そうの向上をはかるため、田中留吉、東出大、東出昇三氏の寄贈による、自然石、つじなどを配置した小園を造つた。石には、波のひびき、葉ごもり、ずい雲と名づけ、それぞれに、俳句の書かれた小札を建てた。尚、川目村の坪谷虎蔵氏は、見ごとな椿を同園に寄贈した。

鳥も疲れて菜ごもりすらむ陽のたるさ 孤城  
 夕雀つつじ花を抱き 汀女  
 ひよどりもだまり居て椿明りかな 孤城  
 等の句がしるされていて、人目を惹くもの  
 があります。

▽去る五月十三日の愛鳥週間に、千葉県館山市で、日本鳥類保護連盟主催の、野鳥保護の集いが催され、佐井村出身の三上士郎氏（医博、日本鳥類保護連盟参与・日本野鳥の会下北支部長）は、常陸宮総裁賞を受賞、（この賞は全国二人だけ）これは、三上氏が、昭和十五、六年ごろから野鳥の研究を始め、空気銃向題、県下白鳥の保護、その他地区の野鳥の保護、その保護団体の育成、後進の指導、中央・地方の新聞に野鳥保護についての論文、学術、啓蒙の記事を多く執筆し、保護人口を増大した多年の功績に對して表彰となつたものである。

館山市県立高校体育館の式場には、総裁常陸宮ご夫妻、山階理事長、中西悟堂氏、本商館山市長、友納千葉県知事らが参集し（約一千人）、三上氏は、七十九の個人、団体の受賞者を代表して、二千六百字の答辭を常陸宮へ奉読した。



## 結婚の簡素化

公民館と婦人会

の集會から

奥本 静一（教育長）

五月十四日、みどり荘で、結婚の簡素化について協議が行われた。

教育委員会、学校長、婦人会と最近の結婚式について、いろいろと話し合いがなされた。まず、品田委員長からは、昨年、招待された青森市、津軽地区のお話があり、引き続き、高橋小学校長から、むつ市周辺の例を紹介され、婦人会からは、地元のことなど具体的な実例が話された。

〇ご祝儀は千円程度に  
 婦人会の正副会長から、最近の佐井村のことがくわしく報告され、いろいろと話し合っている間に、みんなの気持は、祝言や結婚費用に、三十万

円もかけることは、決してほめこいでは無い、出来るだけ費用をおさえて、もし余裕を生じた場合には、新しい人生を築くご二人のために、金を大切に、将来に備えるべきでないかということであつた。

ただ、ここできがやかに、話されたことは、そのようなことは、みんなが考え、みんなが望んでいることに間違いはないのだが、例えばたれそれのときには、お膳や引物がこうであつたとか、あの人に招待されたから、こちらでも招待しなければならぬとか、あそこの家に借りがあるからとか、いつか結婚披露の場も広くなり、人数も多くなり、それにつれて、また衣裳もお膳も引物も一層、華美になりがちとなるということであつた。

これは世間一般、どこでもあることであり、また頭をいためていることでもあるのですが、佐井村もその例に洩れずで、このようなことから、今回の集会となり、そしてお互いの話し合いのなかから、結婚の簡素化につとめ、ご祝儀は一千円程度が望ましいという事になった。

そのような次第で、特に若い適齢期の男女を持つておられる家庭のみなさん、どうか思い切つて、婦人会と公民館の結婚簡素化推進にご協

力の程をお願ひします。

料理やお世話のことですが、町内婦人会の役員でもよし、婦人会長、婦人会事務局でも結構です。

喜んでご相談に応ずるところまで、話し合いがまとまりましたので、生活改善の村づくりにも、ご協力、ご利用のほど切望致します。

## 役場に対する苦情

——その他についで——

助役 宮川 年晴

東奥日報によれば、美濃部東京都知事が、都民との対話をスローガンとしてより、「対話」という言葉が流行語となつたとありますが、佐井村の場合、対話も大いに結構であります。対話以前の役場の仕事の仕方について問題があるようですので弁解をかねて一言申し上げます。

例えば、ゴミの集め方について緑町をまわらない、黒岩に行かない、トラックのまわり方が、まらんでないという苦情をうけます。係に話をすると、トラックは緑町を午前七時ごろに車庫から出る時に、ひとまわりするが、その時間には、ゴミは出ていないとか、黒岩にはトラックが入れ

ないので、県道までゴミ箱を出してくれなければ困るとゆうことを云います。之も亦、ゴミのことで大佐井川は、特にゴミ捨場のようでは汚れてしまいます。川へゴミを捨てる人も内心、心苦しく思い乍ら捨てる場所がなくて捨てるを得ないことだと思えます。

トラツクが十日に一回よりまわらないのではそれまでまてないとゆうこともあると思えます。そのためには七日に一回まわるとか、各町内毎に大きな護美箱をおいたらどうかとゆう意見もあります。これらのことは早く解決策を打ち出すべきだと心づけております。

次に歯医者がくると云つてから二ヶ月になります。それの中には歯の治療も地元で待つている人もあつて、どうしたのかと言われます。之は新聞にも出しましたが、出入国管理令による許可の關係で遅れておるのですが、もう向むなくと思えます。

有線放送だがサツパリ聞えないとゆうことがござります。之も手直ししますと書いてから大分日数がたちました。何せ県の検査が終らない中は手直しが出来ないとゆうことでのびのびとなつておりましたが、その検査も終了しましたの

で近頃中になるべく全般的に聞え易いように手直しをしたいと思います。

大佐井川の川床が高くすぐ橋下夕に水がつかえる、矢越道路の穴ボコがひどくなつた、ガンカケの手前、海辺のガケが崩れて危険だとゆうようなことは大間土木の所長によく考慮してほしいと再三要望してあります。大佐井浜町(正)さんの前のドロコンもあれをみてゐるのかと云われて汗をかいております。あれこれ向題点は沢山あつても金がないために手をつけられないとゆうこともあります。どうか納税成績の向上にご協力下さい。恐らく苦情はまだ多くあると思えます。

それに取員の勤務も仕事に追われていて、仕事を追う状態でないことも卒直に認めます。之を脱却して仕事を追う状態にしてほしいと私は再三話し合いを進めておりますから、水道、国保、年金、徴税などすべて役場への苦情は、どしどし私宛、手紙なりハガキなり電話なりで申しつけて下さいますようお願い申し上げます。

広報へ建設的なご意見を





# 佐井村6月行事予定表

- 1日 ゴミ回集日
  - 4日 春季運動会
  - 8日 結核検診精密検査
  - 9日 知事・師田長来村(隊員慰向)
  - 10日 ゴミ回集日
  - 15日 狂犬病予防および犬の登録実施
  - 16日 佐井村広報発行
  - 20日 ゴミ回集日
  - 23日 佐井村小中・保育所結核検診
- 「佐井村議会定例会 下旬」

▽六月九日午前十時、竹内県知事は、ヘリコプターで来村、川内、佐井間道路視察と、現場で作業中の陸自隊員を慰向することになつております。

▽五月廿三日、全国交通安全運動の一環として、主催佐井村、協さん大岡地区交通安全協会では、交通安全と道徳の普及のため、パレードを行いました。佐井小学校の鼓笛隊、佐井十学伎のブラスバンドのメンバーも参加した、みな演奏を披露してよろ

こはれました。

## ご挨拶

土木建設常任委員長 木部惣太郎

五月六日の臨時村議会組織会において、土木建設常任委員長に選任されました。佐井村の交通の便を良くするには、何と云つても道路問題であります。道路の早期完成によつて産業・経済の発展に大きな役割をすることと思ひます。常任委員長として、一生懸命議会活動につとめる決意であります。

村民各位のご協力を望み、謹んでご挨拶を申し上げます。

## ご挨拶

文教厚生常任委員長 奥本 正一

村財政、才出の最も大きい消費部門を持つ、文教厚生を担当致すことになりましたが、限られた予算で、最大の効果を上げるのが、誰でもが考えることと思ひます。私もそう信ずる一人です。而も特に教育面は、日に日に進歩発展するものと考える次第ですが、高物価等に対する心構えも必要と考へますが、特に住民の批判が大きいのと云うことを心にきざみ努力する積りです。

よろしく皆様の「叱正とご鞭撻をいただきたいと存じ上げます。

# 戦没者等の遺族に特別弔慰金

## 支給のおしらせ

戦没者等の遺族に、特別弔慰金が支給されております。  
請求の手続きをしない遺族は、早めに役場に申し出て  
手続きをしま下さい。

支給の対象となる主な遺族は次のとおりです。

1. 遺族援護法の弔慰金（五万円・三万円等）を受けた遺族で、昭和四十年四月一日現在、公務扶助料や遺族年金等を受ける遺族がない場合。

2. 遺族援護法の弔慰金を受けた遺族が死亡等の場合には

弔慰金を受けなかった遺族で、戦没者の子、父母、孫、

祖父母、兄弟姉妹の順に支給されます。但し、前記のよ

うに昭和四十年四月一日現在、公務扶助料や遺族年金等を

受ける遺族がいる場合は除かれます。

3. 支給金額 3万円（国債）

○ なお、支給の制限があるものとあります。くわし

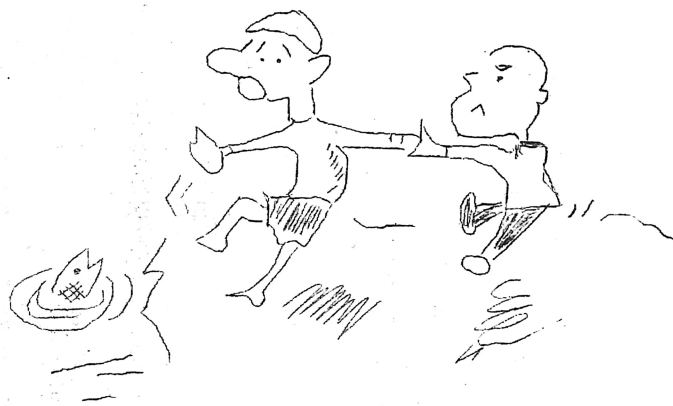
いことは役場厚生係へお尋ね下さい。

### 記事の訂正

ご挨拶中へ川畑氏へ終りから二行目作業を任務と訂正  
議会の組織表の中へ監査とあるのは、正式には佐井根  
監査委員である。

## 子どもの水死事故防止

### 子どもだけの水あそびはキケン



佐井駐在所

あとがき

いよいよ初夏の季節即ちを迎えました。皆様には  
何かとご多忙の事と思えます。広報や三十一号を  
送ります。  
皆様からのご意見、ご希望などおまちします

(中村)